

不祥事防止への取組

水戸市立吉田小学校

教職員による不祥事は、教職員と子ども、また保護者・地域と学校の間で構築された信頼関係を一瞬で失墜させるものであり、絶対に根絶しなければなりません。そこで、本校では、不祥事根絶に向けたコンプライアンス意識と不祥事防止体制の確立のために、以下のように取り組んでいます。

1 不祥事根絶のために全職員で計画的にコンプライアンス研修を実施しています。

教職員一人ひとりが、「自分も不祥事を起こし得る」という意識を持ち、わいせつ行為、セクシャル・ハラスメント、飲酒運転、体罰、公金の不適切な処理、交通事故等、様々な不祥事案に対して、自らの生活を振り返ることができるように、コンプライアンス研修を実施しています。また、コンプライアンス研修は、年間計画に位置づけ、ボトムアップ形式で実施しています。

2 不祥事防止体制の確立のために、風通しの良い職場づくりを推進しています。

不祥事を防止するためには、教職員が互いに相談しやすく協働的にサポートできる風通しの良い職場づくりが必要です。そのために、コンプライアンス委員会のもとより、教務会、企画会、運営委員会、学年会等における教職員間のコミュニケーションを重視し、組織として情報交換を密にすることで、互いにサポートする体制を推進しています。

3 不祥事関連の通知文等を利用し、様々な事例を教職員全体で共有しています。

不祥事の内容と対象職員の処分内容等について、県教委や市教委からの通知文等から、それを職員が自分事として捉え、不祥事の原因や具体的な防止策について、職員集会や研修会等で考え、話し合っています。

4 管理職による教職員との面談と教員アンケートを定期的実施し、支援をしています。

地域住民や保護者、児童から信頼される学校づくりのために、人事評価の面談や日頃の面談において、管理職が助言や相談にのる等、教職員の支援を行っています。また、サービスに関する教員アンケートを定期的実施し、その結果について、教職員間で情報を共有しています。